

## 2進数とその簡単な計算

情報ネットワーク工学入門  
2021年度後期  
佐賀大学理工学部 只木進一

- ① 二進数と十進数
- ② 二進数演算
- ③ 減算
- ④ 接頭辞 : Prefix
- ⑤ 10進数、2進数、8進数、16進数

# コンピュータ内でのデータの取り扱い

- コンピュータ内では 2 進数 (binary numbers)
- 2 進数 1 桁 [0, 1] を bit と呼ぶ
- 2 進数 8 桁 [0, 255] を Byte と呼ぶ
- 文字コード
  - ASCII コード: 7bit で数字やアルファベットを表現
  - 日本語コード: JIS、SJIS、EUC は 2 バイト
  - 多言語混在: UTF-8 など

# 十進数と桁の意味

- 十進数 (decimal numbers) では  $\{0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9\}$  の 10 個の記号を使用
- $k$  桁目は  $10^{k-1}$  が何個あるかを表す

$$1634 = 1 \times 10^3 + 6 \times 10^2 + 3 \times 10^1 + 4 \times 10^0$$

$$3021 = 3 \times 10^3 + 0 \times 10^2 + 2 \times 10^1 + 1 \times 10^0$$

- $9 + 1 = 10$  という桁上がりの規則

# 十進数と二進数の相互変換

- 十進数から二進数へ
- 2 のべき乗の和で表す
- 二進数は、右下に 2 を付けて表記

$$\begin{aligned}53 &= 32 + 16 + 4 + 1 = 2^5 + 2^4 + 2^2 + 2^0 \\ &= (00110101)_2\end{aligned}$$

$$\begin{aligned}130 &= 128 + 2 = 2^7 + 2^1 \\ &= (10000010)_2\end{aligned}$$

$$\begin{aligned}163 &= 128 + 32 + 2 + 1 = 2^7 + 2^5 + 2^2 + 2^0 \\ &= (10100011)_2\end{aligned}$$

$$\begin{array}{r}
 2 \overline{)53} \\
 2 \overline{)26} \\
 2 \overline{)13} \\
 2 \overline{)6} \\
 2 \overline{)3} \\
 2 \overline{)1} \\
 \quad \quad \quad 0
 \end{array}
 \begin{array}{r}
 1 \\
 0 \\
 1 \\
 0 \\
 1 \\
 1
 \end{array}
 \begin{array}{c}
 \uparrow
 \end{array}$$

- 2で割った商と余りを求める
- これを0になるまで繰り返す
- 余りを上から下に読む

$$53 = (00110101)_2$$

# $2^n$ はある程度覚えよう

$$2^0 = 1,$$

$$2^2 = 4,$$

$$2^4 = 16,$$

$$2^6 = 64,$$

$$2^8 = 256,$$

$$2^{10} = 1024,$$

$$2^1 = 2,$$

$$2^3 = 8,$$

$$2^5 = 32,$$

$$2^7 = 128,$$

$$2^9 = 512,$$

$$2^{11} = 2048.$$

# なぜ、コンピュータは2進数を使うのか

- 素子が簡単にできる
  - 状態はオン (on) とオフ (off) の二つ
  - リレー (relay)、真空管 (vacuum tubes)、トランジスタ (transistors)
- 演算規則が簡素

$a$	$b$	$a + b$	$a \times b$
0	0	0	0
0	1	1	0
1	0	1	0
1	1	10	1



## 加算と乗算

$$\begin{array}{r} 101 \\ +) 11 \\ \hline 1000 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 1011 \\ +) 110 \\ \hline 10001 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 101 \\ \times) 11 \\ \hline 101 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 101 \\ +) 101 \\ \hline 1111 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 101 \\ \times) 101 \\ \hline 101 \\ 101 \\ \hline 11001 \end{array}$$

# 減算

引き算は、上の桁からの「借り」があり、足し算に比べて難しい。  
コンピュータは、2進数でそのように引き算をしているか。

- コンピュータが扱うのは有限桁
- 8bit と考える：扱えるのは 0 から 255 まで

## 2 の補数 : two's complement

- 整数  $n$  に対する 2 の補数
  - $n$  の二進表現で 0 と 1 を反転し、1 を加える
- $n = 5$  の場合

$$\begin{aligned}5 &= (00000101)_2 \\ &\Rightarrow (11111010)_2 + (00000001)_2 \\ &= (11111011)_2\end{aligned}$$

## 2の補数を使った減算

- $9 - 5$  をそのまま実行

$$\begin{aligned}9 - 5 &= (00001001)_2 - (00000101)_2 \\ &= (00000100)_2 = 4\end{aligned}$$

- 9 に 5 に対する 2 の補数を足す

$$(00001001)_2 + (11111011)_2 = (100000100)_2$$

- 二進表現が 9 桁になった。一番上の桁を削除して 4 を得る。

$$(00000100)_2 = 4$$

- $n$  に対する 2 の補数とは
  - 0 と 1 を反転させる

$$(11111111)_2 - n$$

- 1 を足す

$$(11111111)_2 - n + 1 = (100000000)_2 - n$$

- $m$  から  $n$  を引く代わりに、 $m$  に  $n$  に対する 2 の補数を足す

$$m + ((11111111)_2 - n + 1) = m - n + (100000000)_2$$

- 後で、 $(100000000)_2$ 、つまり桁が溢れた部分を取り除けば良い

9 - 5 の代わりに、9 に 5 に対する 2 の補数を足すことを 10 進で見してみる:8bit の場合

- 5 に対する 2 の補数

$$(256 - 1) - 5 + 1$$

- 9+(5 に対する 2 の補数)

$$9 + (256 - 1) - 5 + 1 = 9 - 5 + 256$$

減算 :  $5 - 9$ 

- $9 = (00001001)_2$  に対する 2 の補数

$$(11110110)_2 + (00000001)_2 = (11110111)_2$$

- 5 に 9 に対する 2 の補数を足す

$$(00000101) + (11110111)_2 = (11111100)_2$$

- これは  $4 = (00000100)_2$  に対する 2 の補数

$$(11111011) + (00000001)_2 = (11111100)_2$$

- 2 の補数は、対応する負の数を表している

## 例：23 - 17

- $23 = (00010111)_2$
- $17 = (00010001)_2$
- **17 に対する 2 の補数** :  $(11101111)_2$
- **23+(17 に対する 2 の補数)**

$$(00010111)_2 + (11101111)_2 = (100000110)_2 = 6 + 256$$



# 負の数

- 8bit のうち、最上位を符号として扱う
- 例:  $0 - 1 = (11111111)_2$ 
  - 1 の「2 の補数」に相当

## 除算

$$\begin{array}{r} 101 \\ \hline 1011 \overline{) 01000001} \\ \underline{1011} \phantom{000001} \\ 10101 \phantom{00001} \\ \underline{1011} \phantom{00001} \\ 1010 \phantom{00001} \end{array}$$

# 小数

$$\begin{aligned}(0.101)_2 &= 2^{-1} + 2^{-3} \\ &= \frac{1}{2} + \frac{1}{8} = \frac{5}{8} = 0.625\end{aligned}$$

- 浮動小数型

$$(0.1.1)_2 = 2^{-1} \times (1 + (0.01)_2)$$

# 接頭辞 : Prefix

- 3 桁毎に名前を付ける  
東アジアでは 4 桁毎に名前を付ける
- $1\text{k} = 10^3$ 、 $1\text{M} = 10^3\text{k}$ 、 $1\text{G} = 10^3\text{M}$ 、 $1\text{T} = 10^3\text{G}$ 、 $1\text{P} = 10^3\text{T}$
- $1\text{m} = 10^{-3}$ 、 $1\mu = 10^{-3}\text{m}$ 、 $1\text{n} = 10^{-3}\mu$
- 2 進の場合には、1000 の代わりに  $2^{10} = 1024$  を使う

# 10 進数、2 進数、8 進数、16 進数

- $n$  進数: 使える記号が  $n$  個
- 10 進数 (decimals):  $\{0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9\}$   
 $9 + 1 = 10$
- 2 進数 (binaries):  $\{0, 1\}$   
 $1 + 1 = 10$
- 8 進数 (octals):  $\{0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7\}$   
 $7 + 1 = 10$
- 16 進数 (hexadecimals):  $\{0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, A, B, C, D, E, F\}$   
 $F + 1 = 10$

# 16 進数の利用：文字コード

- 16 進 2 桁は 8bit : 0x00 ~ 0xFF
- 16 進数は先頭に 0x を付けて表示
- ASCII コード : 英数文字を表現 : 7bit  
0x00 ~ 0x7F
- 通常の日本語は 16 進 4 桁
- UNICODE  
<http://www.unicode.org/charts/>

# 16進数の利用：インターネット

- インターネットのアドレス標記
- 8bit 毎 (octet) に区切って記述する
- ネットマスク
- MAC (Media Access Control) アドレス

# Python

Python では、10 進数、2 進数、8 進数、16 進数を相互に変換できる。

```
1 x = 126
2 print(bin(x)) # 進数として印刷 2
3 print(oct(x)) # 進数として印刷 8
4 print(hex(x)) # 進数として印刷 16
```



# 課題

UNICODE の最初の 7 ビット分は、ASCII 文字、つまり数字やローマ字等を表している。8 ビットまで拡張すると、全てではないが、ヨーロッパの英語以外の言語が使用しているアクセント付き文字を表現している。以下の URL を見て、確かめなさい。それぞれの PDF の 3 ページ以降には、それぞれの記号の説明がある。

- 0000 - 007F

[www.unicode.org/charts/PDF/U0000.pdf](http://www.unicode.org/charts/PDF/U0000.pdf)

- 0080 - 00FF

[www.unicode.org/charts/PDF/U0080.pdf](http://www.unicode.org/charts/PDF/U0080.pdf)